

タブレットを活用していきます

昨年度末に、学校から、児童一人一人にタブレット (iPad) を配布しました。(1年生と転入してきたお子さんには、現在設定等の調整をしているので、もうしばらくお待ちください)

2年生以上は、しばらくご家庭で保管していただいておりますが、教育活動の中での活用を本格的に始めます。学年(学級)の担当から、「毎日持って来るように」という指示があると思いますので、その後は毎日持たせるようお願いいたします。お配りしたタブレットは、一台あたり、1.1kgあります。おおむね教科書3冊分です。ランドセルがとても重くなってしまいますので、教科書等を学校に置いておくことなどの検討をしているところです。

右上の写真は、さっそく5年生が授業の中で使っている場面です。タブレットの中に入っているロイロノートという学習支援ソフトを使って、一人一人が、必要なシートをつなげているところです。手書きには手書きの良さがありますが、デジタルにもその良さがたくさんあります。例えば、紙で配るより、資料の配布が簡単です。ボタン一つで全員に届けることができます。児童が作成した学習の記録シートなどの提出も簡単です。画面上に設定された箱に、自分の作成したシートを放り込めば、すぐに先生に届きます。先生は、誰が出していて、誰がまだなのか、画面上ですぐに確認できますし、そのチェックも簡単で、とても便利です。



今、学校では、「どんな使い方ができるのだろう」などと、いろいろ考え始めているところです。今後、徐々に使う場面が増えてくると思います。とりあえずは、上で紹介したような、ロイロノートを中心に使い方の工夫をしていくことになるかと思いません。発達段階によっても、使い方は違ってくると思われれます。しばらくの間はお試し期間、うまくいかないことも含めて、いろいろと試してみる期間といたします。時には、宿題などでも活用されると思いますので、ご自宅で開く場面が増えるかもしれません。お子さんがタブレットを使っていたら、どうぞのぞいてみてください。

また、こんなことはあってほしくはありませんが、コロナウイルスの感染によって、学級や学年が一定期間(2週間ほど?)閉鎖になる事態も、ないとは言えません。そんなときは、タブレットの中のZoomを使って、朝の会や終わりの会、家庭学習の質問タイムなどといった、去年はできなかった、「オンラインでつながる」というような使い方も、想定の中には入っています。

使ってみないと、その良さや便利さ、場合によっては課題も含めて、わかりません。だから、これからいろいろ試したいと思います。お子さんが使っている様子をご覧になると、きっといろいろお気づきになると思います。そんなときは、ぜひ学校まで声をお寄せください。